

教科(国語)

科目(古典B)

学年(2年)

単位数(3)

類型(共通 ・ 文 ・ 理)

履修規定(必修 ・ 選択)

学習の目標					使用する主な教材				
語句の意味、用法、文の構造を理解したり、構成や展開に即して内容を捉えることによって、古典としての古文と漢文を読み味わうことができる力を身に付ける。 古典を読み味わうことを通して、古典作品の価値を知ったり、自らのものの見方、感じ方、考え方を広くするとともに我が国の文化や、我が国と中国の文化との関係について理解を深め、人生を豊かにしていこうとする意欲を持つ。					・教科書 高等学校改訂版古典B (第一学習社) ・問題集 新成古典(尚文出版)				
					評価の観点				
					①関心・意欲・態度 ②話す・聞く能力 ③書く能力 ④読む能力 ⑤知識・理解				
期	月	単元	教材	主な単元の目標と具体的学習内容	主な評価の観点				
					①	②	③	④	⑤
1	4	話の展開や登場人物の心情を的確に把握する。	説話 古今著聞集	・説話文学の面白さを知り、古典への興味を養うとともに、他の教材に登場する人物の逸話を鑑賞することにより発展的学習の基礎を固めさせる。	○			◎	○
		故事・寓話の持つ寓意を理解し、思考力・批判力を養う。	故事・寓話 呉越同舟	・漢文に慣れ、訓読上の決まりをより正しく理解させる。 ・背景にある思想・時代風潮を理解し、漢文学習への興味・関心を養わせる。	○			◎	○
	5	各章段を読み味わい、作者の思想について考察する。	随筆(一) 徒然草	・随筆文学の特色について理解させ、作者のものの見方・考え方について考えさせる。各章段のテーマを現代に当てはめて考え、自らのものの見方を深めさせる。	○			◎	○
		古代人のものの見方・考え方を理解する。	古代の史話 戦勝於朝廷	・史伝を読み、やや長い漢文の文章に慣れ、読解力を身に付けさせる。登場人物の心理・言動をとらえ、主従関係や政治のありようを考えさせる。	○			◎	○
	6	初期仮名文学の特色と魅力を味わう。	物語(一) 伊勢物語 竹取物語	・歌物語における和歌の役割について考えさせ、各段においての和歌の位置づけを理解させる。 ・言語活動として、同じ題材を取り上げた文章を読み比べ、共通点、相違点を説明させる。	○			◎	○
		文章の表現・比喩・論の展開の巧みさを味わう。	名家の文章 雑説 売油翁	・漢文独特の洗練された名家の文章を読み味わい、自己の思考と表現力を高めさせる。	○			◎	○
2	8	随筆文学の特色をとらえる。	随筆(二) 枕草子	・様々な形式、話題で織りなされる随筆の特色をとらえさせる。 ・各章段から、和漢の教養を踏まえた機知や、作者の視点からの分析や評価について理解させ、自らのものの見方を深めさせる。	○			◎	○
	9	作品を読み味わい、その価値について考察する。	項羽と劉邦 鴻門之会 四面楚歌	・長い文章を、話の筋を負いながら読解する力を養わせる。 ・人間の真実を追求しようとした司馬遷の意図を考えさせる。	○			◎	○
	10	物語の文体・表現を対比的に読む。	物語(二) 源氏物語 大鏡	・特色や形式の異なる二つの物語を比較し、その特徴をとらえさせる。 ・言語活動として古典に描かれた衣服と色に注目し、背景知識と古文の鑑賞力を深めさせる。	○			◎	○
		古代中国人の豊かな想像力に触れる。	志怪と伝奇 枕中記	・話の不思議さを味わい、古代中国人の想像力・表現力の豊かさを味わわせるとともに、当時の社会状況を理解させる。	○			◎	○
	11	歴史や文化に対する興味・関心を深める。	日記 更級日記	・少女時代の物語への憧れや、成長につれての心情の変化を理解させる。	○			◎	○
		漢詩を読み味わい、鑑賞力・表現力を高める。	漢詩の鑑賞 秋風の引 九月九日憶山東兄弟 送夏目漱石之伊予	・近体詩の形式の基本を理解させる。 ・中国の漢詩を読み味わうとともに、日本の詩人が中国の詩を自らの表現手段とした意義を考えさせる。	○			◎	○
	12				○			◎	○

3	1	日記文学の特徴をとらえる。	日記 建礼門院右京大夫集	・時代背景を理解した上で、作品に表れた作者の心情を読み解く。	○			◎	○
		諸子百家の思想を学ぶ。	儒家の思想 法家・道家の思想	・それぞれの思想の系統について概要を理解させ、論旨を的確につかませる。 ・比喩や説得の巧みを味わわせる。	○			◎	○
	2	軍記物語の生き生きとした表現を読み味わう。	物語(三) 平家物語 義経記	・軍記物語特有の語彙、語法、文体を理解し、適切に口語訳させる。 ・武人の人物造形を読み味わい、諸行無常・盛者必衰等の思想について理解を深めさせる。	○			◎	○
	3	三代集の歌風をとらえ、鑑賞力を高める。	和歌・俳諧 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集	・和歌の修辭法について習熟させる。 ・和歌に反映された各時代の特徴を理解することで、鑑賞を深めさせる。	○			◎	○
評価の方法		①関心・意欲・態度 国語を用いて伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上をはかろうとしている。 ②話す・聞く能力 目的や場に応じて効果的に話しの確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。 ③書く能力 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。 ④読む能力 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 ⑤知識・理解 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。							
		①～⑤の観点に基づいて、授業や課題への取り組みやその成果物、定期考査等を総合的に判断する。							